

たのしいプリントだ！



口コモ 4-1

なまえ

たしざんをしましょう。

$1 + 1 =$

$6 + 1 =$

$2 + 1 =$

$7 + 1 =$

$3 + 1 =$

$8 + 1 =$

$4 + 1 =$

$9 + 1 =$

$5 + 1 =$

$2 + 1 =$

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

口コモ 4 - 2

なまえ

たしざんをしましょう

$3 + 1 =$

$6 + 1 =$

$8 + 1 =$

$1 + 1 =$

$5 + 1 =$

$4 + 1 =$

$7 + 1 =$

$9 + 1 =$

$2 + 1 =$

$8 + 1 =$

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

口コモ 4 - 3

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

な つら
泣き面に

な
慣れよ



な
無くて

はち
蜂



なら
習うより

ため
為ならず



な
為せば

なな
七くせ



なさ ひと
情けは人の

な
成る



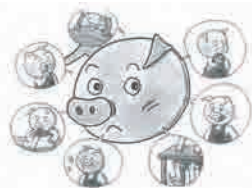
口コモ 4-4

なまえ

せん
線でむすびましょう。

なさ ひと
情けは人の

なな
七くせ



な
為せば

はち
蜂



な つら
泣き面に

ため
為ならず



なら
習うより

な
成る



な
無くて

な
慣れよ



ロコモ 4-5

なまえ

せん
線でむすびましょう。

なさ
情けは
ひと ため
人の為ならず

わる つづ
悪いことが続いておきる



な なな
無くて七くせ

なん
何でもできる



なら な
習うより慣れよ

ひと くせ
人にはだれでも癖がある



な つら はち
泣き面に蜂

れんしゅう
たくさん練習しよう



な な
為せば成る

よ
良いことをして、よかった!



口コモ 4 - 6

なまえ

せん
線でむすびましょう。

なさ
情けは
ひと
人の為ならず

その気になってやれば何でも
できる。



な
無くて七くせ

わる
悪いことの上にさらに悪い
ことが重なること。



なら
習うより慣れよ

ひと
人はだれでも七つくらいは
癖がある。



な
泣き面に蜂

おそ
教わるよりも、練習したほう
が効果的である。



な
為せば成る

なさ
情けを人にかけて自分
に
良いことが返ってくる



口コモ 4 - 7

なまえ _____

かけざんをしましょう。

$$2 \times 1 = 2$$

$$2 \times 2 =$$

$$2 \times 3 =$$

$$2 \times 4 =$$

$$2 \times 5 =$$

2

4

6

8

10

口コモ 4 - 8

なまえ

かけざんをしましょう。

$$2 \times 5 =$$

$$2 \times 6 =$$

$$2 \times 7 =$$

$$2 \times 8 =$$

$$2 \times 9 =$$

10

12

14

16

18

口コモ 4 - 9

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

な はな
菜の花や

まけるな^{いっさ}一茶
これにあり



おとろ
衰えや

ひる
昼ひとしきり
うみ おと
海の音



がえる
やせ蛙

はな お
花を折るにも
くちま
口曲げる



口コモ 4 - 10

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

おとろ
衰えや

はな お
花を折るにも
くち ま
口曲げる



な はな
菜の花や

まけるな一茶^{いっさ}
これにあり

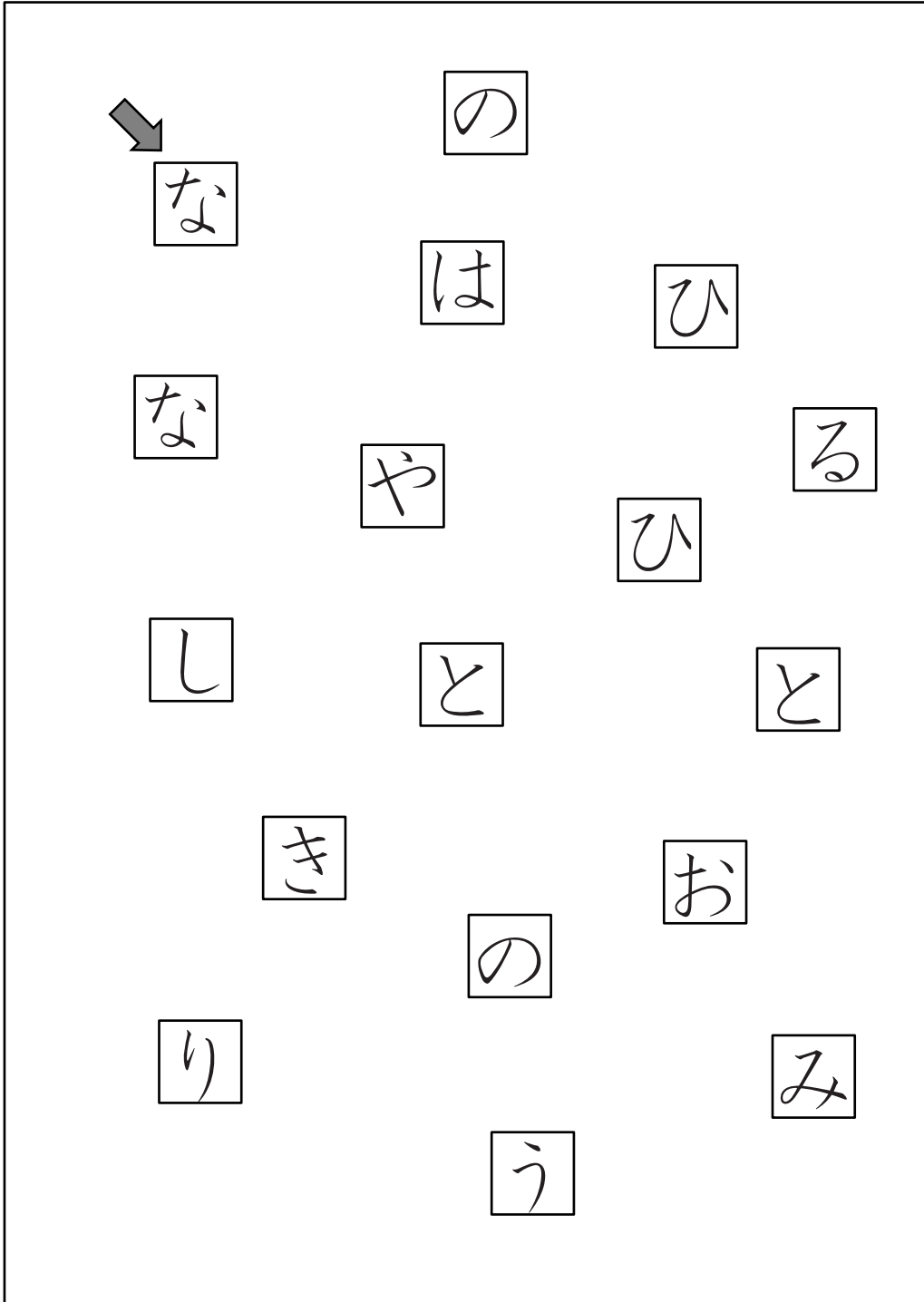


がえる
やせ蛙

ひる
昼ひとしきり
うみ おと
海の音



せん
線でむすびましょう。

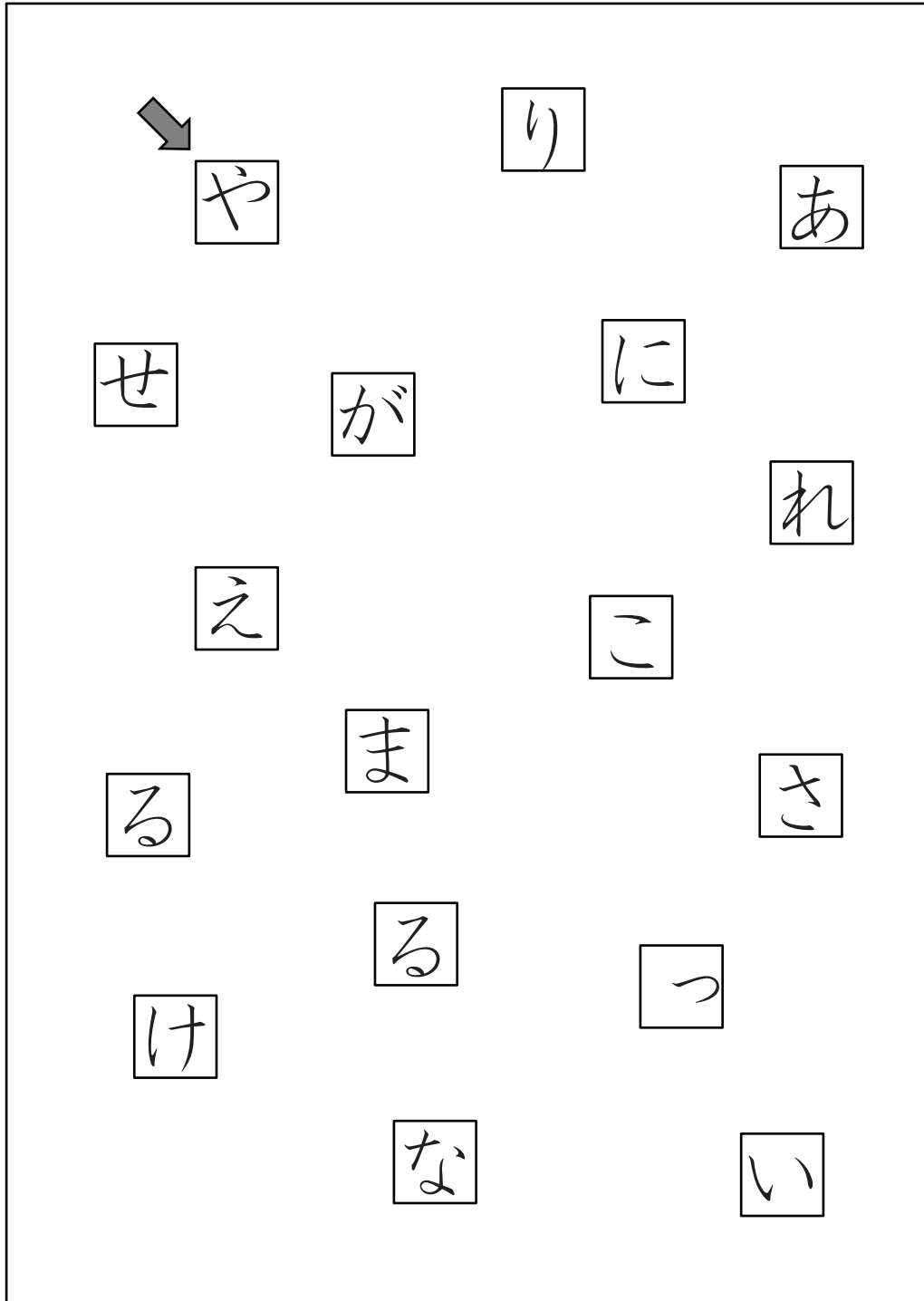


な
の
は
な
や
ひ
る
ひ
と
し
き
り
...

口コモ 4 - 12

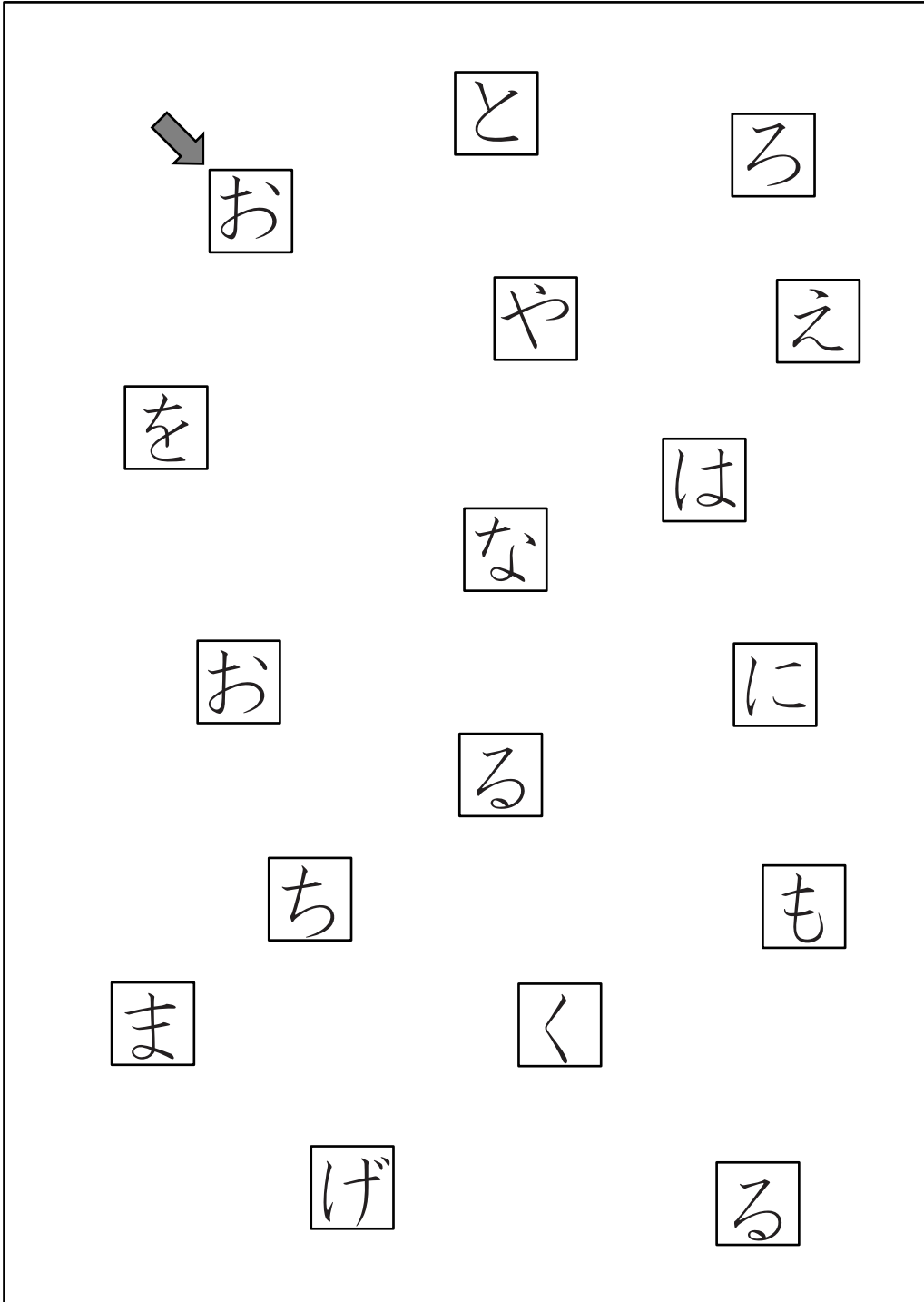
なまえ

線^{せん}でむすびましょう。



やせがえる……

線^{せん}でむすびましょう。



おとろえや……

口コモ 4 - 14

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

			や
			□
		ま	が
		け	え
		□	
	□	な	□
	れ	□	
	□	っ	
		□	
		あ	
		り	
こ 小 林 一 茶	ば やし い っ さ		

口コモ 4 - 15

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

お

え

や

な

を

お

る

も

ま

げ

る

小

林

一

茶

口コモ 4 - 16

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

			な
		□	□
		る	は
		□	な
	□	と	や
	み	□	
与	□	き	
謝	お	り	
蕪	□		
村			

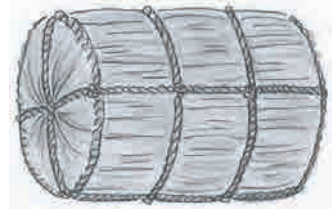
口コモ 4 - 17

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

いっ 個
一 個

こ
め
だ
わ
ら



いっ ぴょう
一 俵

く
つ
し
た



いっ ぞく
一 足

み
か
ん

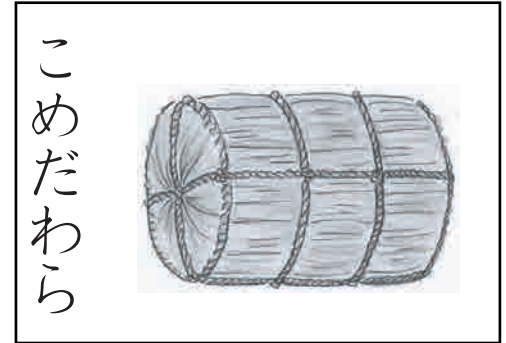


口コモ 4 - 18

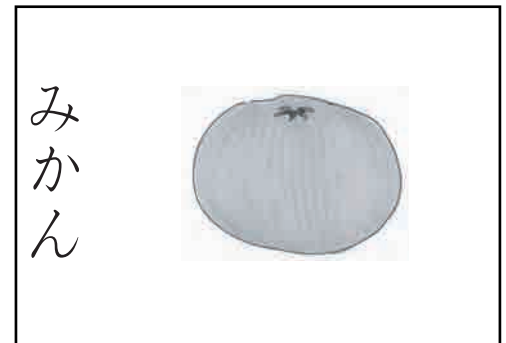
なまえ

せん
線
でむすびましょう。

いっ こ
一 個



いっ そく
一 足



いっ ぴょう
一 俵



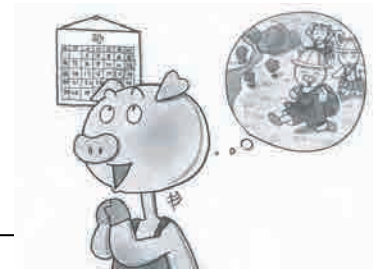
口コモ 4 - 19

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

つめ
爪

なが
を長くする



くび
首

お
を押す



ねん
念

をかくす



口コモ 4 - 20

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

ねん お
念を押す

のうりよく ひと み
能力ある人は見せたり
しない。



つめ
爪をかくす

まだかなあ。
もうくるかなあ。



くび なが
首を長くする

だいじょうぶだね。
まちがないね。



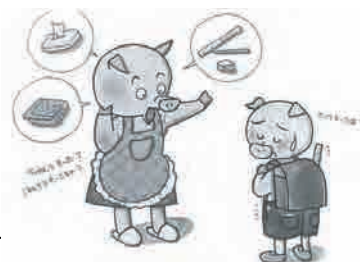
口コモ 4-21

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

つめ
爪をかくす

まちがいがないように、
くり返し^{かえ}注意^{ちゅうい}すること。



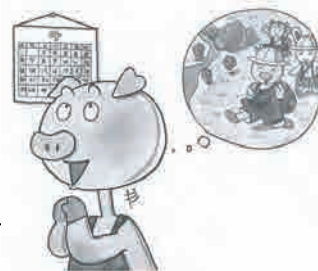
くび ^{なが}
首を長くする

さいのう ^{おもて} ^だ
才能を表に出さず、いざと
いうときには^{はっき}発揮すること。



ねん ^お
念を押す

ものごと ^{じつげん}
物事が実現することを今か
^{いま}今かと待ちこがれること。



下から選んで慣用句をつくりましょう。

をかくす

を^{なが}長くする

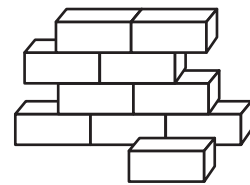
を^お押す

ねん つめ くび

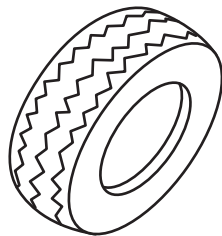
ヘンゼルとグレーテルが^{もり}森^{なか}の中でみつけた
^{いえ}家は^{なに}何でできていましたか。
○をつけましょう。



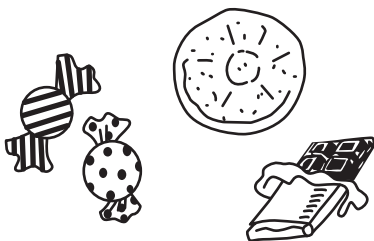
ほん



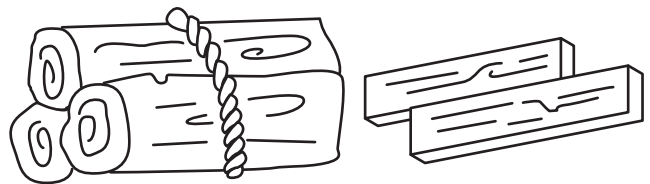
レンガ



タイヤ



おかし



き

ヘンゼルは、どうやって魔^ま女^{じょ}をだましていたのですか。



- 1 つえをさわらせていた。
- 2 にわどりのほねをさわらせていた。
- 3 こ^{いし}石をさわらせていた。

口コモ 4 - 25

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

みかの原^{はら}
わきて流^{なが}るる izzumi川^{がわ}

よしの^の吉野^{さと}の里^に
降^ふれる白雪^{しらゆき}

なげ
嘆^{なげ}きつつ
ひとり寝^ぬる夜^よの明^あくる間^まは

ひとし
人^{ひとし}知^れずこそ
思^{おも}ひ初^いめしか

あさ
朝^{あさ}ぼらけ
有^{あり}明^{あけ}の月^{つき}と 見^みるままでに

ひさ
いかに久^{ひさ}しき
ものとかは知^しる

こい ちよう
恋^{こい}すてふ
わが名^なはまだき 立^たちにけり

み
いつ見^みきとてか
恋^{こい}しかるらむ

口コモ 4 - 26

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

なげ
嘆きつつ
ひとり寝る夜^よの明^あくる間^まは

♣
いつ見^みきとてか
恋^{こい}しかるらむ

こい ちょう
恋^{こい}すてふ
わが名^なはまだき立^たちにけり

よしの さと
吉野^{よしの}の里^{さと}に
降^ふれる白雪^{しらゆき}

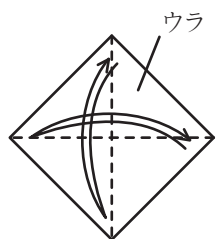
みかの原^{はら}
わきて流^{なが}るる づみ川^{がわ}

ひとし
人^{ひとし}知れずこそ
思^{おも}ひ初^いめしか

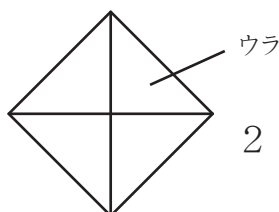
あさ
朝^{あさ}ぼらけ
有^{あり}明^{あけ}の月^{つき}と 見^みるまでに

ひさ
いかに久^{ひさ}しき
ものとかは知^しる

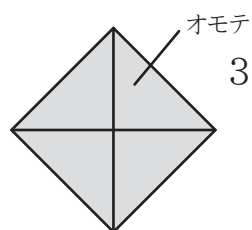
《だましぶね》



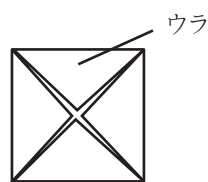
1 たてよこに さんかくに おる。



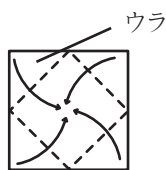
2 ひろげて、うらがえす



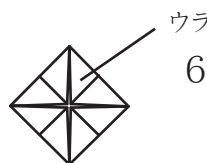
3 かどをが まんなかに くるように おる



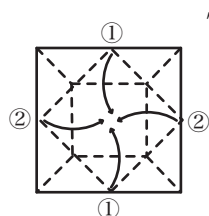
4 うらがえす



5 もういちど かどが まんなかに くるように おる



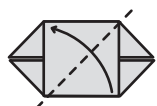
6 ぜんぶひらく



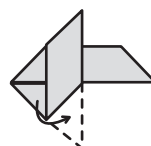
7 ①を どうじに まんなかで あわせながら、②どうしを まんなかで くっつける



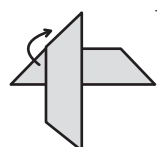
8 うらがえす



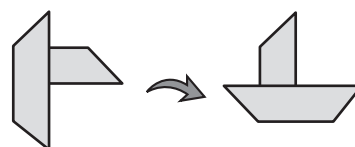
9 ななめに おる



10 したのぶぶんをくるりと うしろから ひっくりかえす



11 ひだりがわの さんかくの ぶぶんを うえに つきでている さんかくに あわせるように おりかえす



この ぶぶんを うえに むけたら だましぶねの かんせい